

## 「きれいな一枚の絵」

暦の上では秋とはいえ、まだまだ暑い日が続いております。ただいまアンジェールでは、ジグソーパズルがちょっとしたブームになっており、今日もあちらこちらのテーブルでピースを片手にわいわいがやがや楽しそうです。Aさんは30ピース程度のものは簡単に完成させてしまいます。成功すれば更なる高みを目指したいもの。次に50ピースほどのパズルに挑戦です。型にこだわるAさんは、絵柄を無視して同じように見える型に無理やりはめ込んでいきます。見本を見ていた応援団たちは「そこ反対よ」「この絵と同じようにせんといかんのよ」などと口を出します。思い通りにならなくて、イライラしていたAさんは険しい顔で「そんならあんたがしてください」と、とうとう怒ってしまいました。

さあここでコーヒーでも飲んで仕切り直しとしましょうか。一息入れて笑顔で再開です。今度はみんなと力を合わせて完成しそうなのですが、最後の一枚が見当たらなくて大騒ぎ。よく見ると同じような型と色のピースの上にちょこんと載っていました。これには皆さん大笑い。

一方隣のテーブルのBさんは、そんな騒ぎも何のその。ひたすらパズルに集中しています。30,50,65ピースのパズルなど、いとも簡単に完成させてしまうBさんは80ピースに挑戦しています。その集中ぶりといったら凄いものがありました。となりでのテーブルでの大笑いや後ろで「誰か来てくださ〜い」とどんどんテーブルを叩きながらの叫び声は、かなり騒がしいものでしたがものともしません。反対側から「もしもし、あなたご出身はどちら？」と尋ねられ、いつもは丁寧に応えておられるのに、この時ばかりは集中して気づいていないのか返事はありません。時々あちこ

ちテーブルを拭いて回る利用者さんが、テーブルの端に転がるピースを一枚、また一枚と片付けていくのに全く気づいていないようです。そして、食事の時間になったのですが、あの食べることが大好きな B さんが、膳に見向きもしないので思わずどこか悪いのではと体温計を持ってきた職員もいました。そんな心配をよそに、素晴らしい集中力でパズルを完成させた B さんは、それはそれは生き生きとした素敵な笑顔でした。

